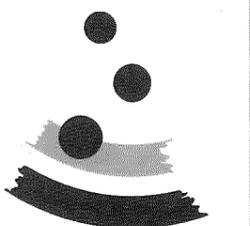


発行所 片貝新聞社 〒947-01 小千谷市片貝町10367-4 TEL・FAX 0258-84-3246 編集発行人 吉原芳郎 印刷所 吉原印刷機 題字 黒崎敬渌氏

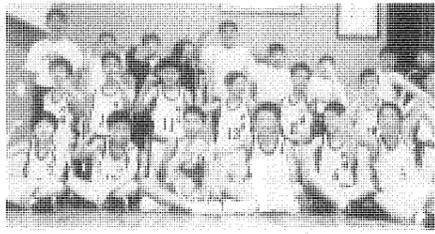


JA片貝町 シンボルマーク 天の恵み地の恵み

やった！片貝中健児 バスケとバレーW優勝の快挙

膨らむ上位大会での活躍

第43回中越地区中学校総合体育大会が7月9・10の二日間各会場で行なわれ、バスケットボールとバレーボールの両部門で優勝の快挙をとげた。



郷体育館で開催された。当初から最大のライバルは小千谷中。次が東小千谷中と千谷中。片貝中を含めた市内三校は順調に勝ち進み、小千谷中と東小千谷中が46対45で接戦を演じた。

中越大会の報告 堀井 康文 中越地区大会では優勝できてうれしかった。決勝戦では相手のゾーンディフェンスをうまくせめられなかった。これからは、もっと練習してゾーンディフェンスに強くなりたい。

バレーボールは出雲崎町体育館と同町西越小体育館の二会場で行なわれた。片貝中は昨年優勝している実績から一回戦はシードで二回戦から登場。二試合とも相手チームに勝利し、決勝戦に進出した。

県ミニバスケットボール選抜優勝大会が7月12、13の両日新潟市西総合スポーツセンターで開催され、片貝2が優勝した。

中越大会の報告と県大会の抱負 佐藤江里子 中越大会では、3回戦あたりから激戦でした。その中で全員が一つにまとまり優勝できて本当に嬉しいです。

県大会で4位入賞 表として推薦される。片貝2は、3回戦で対戦した。県大会では、3回戦で対戦した。県大会では、3回戦で対戦した。

よみ聞かせ会 大活躍 絵本の読み聞かせボランティアの活動が盛況だった。

リサイクルします 3日前9時から片貝支所前でリサイクル活動が行われた。

アフリカ音楽は楽しいな 片貝保育園児大喜び 片貝保育園の園児達は、アフリカ音楽を楽しく学んでいる。

市民投票と選挙

この春以来ゴタゴタ続きた一連の選挙戦も、広井新市長の誕生によって終幕した。

最近の傾向として全国の都市部の投票率がおしなべて低いことである。若者の関心が薄いか、身近な問題に直結していかないとか、いろいろの理由がマスコミを通して語られている。

選挙権を得て以来一度も投票しなかった人が、選挙権を行使する機会がなくなる。これは、選挙権を行使する機会がなくなる。

主張

げことさらに無関心層の多いことを強調するあまり、逆にそれを助長している。選挙権を行使する機会がなくなる。

被爆体験講演会

片中生徒水打ったように聞く 市は非核平和都市宣言事業の一環として、7月16日午後2時から片貝中学校で被爆体験者の松原美代子さんの講演会が行われた。



松原さんは「昭和20年8月6日、私は中学一年生で夏休み期間中であつたが、全員が家を壊す手伝いをしていて、何故か家を壊さなかった。爆撃にあつた場合、延焼を防ぐため、友人が校へ帰ろうと歩き出した。死体や動けなくなった人が大勢いた。熱いので川に飛

かたかい春秋

夏休み真っ盛り、催されたという。生々しい体験を聞き、感受性の強い中学生の心は震えた。戦争は悲惨であり、二度と繰り返してはならない。私は長崎に原爆投下された日であり、15日は終戦記念日である。そして祖先を特別に供養するお盆の月であり、この時期、日本人はふるさとを目指し大移動をするのである。先日、片貝中学校で被爆体験者から、勝敗に関係なく両方

びこもうとしたら、川に死体が流れていたり土手に内臓破裂の人が倒れていたりした。それでも川に入った。後々これが幸いした。川の水で放射能を流した。川で友人と出合いはげましくって歩けなくなった。美代子さんが行つてと言ったが、その日は「おいで行かないで、目的地はここだ」と言われて、分り切らなかった。原爆の後遺症で父も死に、兄弟も三人の子供を残したまま死に、歳老いた母と平和を訴えてゆきたい。倒れることになった。私は十数回の手術を繰り返して開き入っていた。

大きな紙芝居は初めてと大喜びだった。小学校へは16日前11時から、二班に分かれ一年生には「雨たろう」、二年生には「茂のねこの読み聞かせを行なった。

片貝支所前でリサイクル活動が行われた。片貝支所前でリサイクル活動が行われた。

アフリカ音楽は楽しいな 片貝保育園児大喜び 片貝保育園の園児達は、アフリカ音楽を楽しく学んでいる。

故郷への思いはいつも変わりなし 東京片貝会盛況に開催 またも小、中両校に大型プレゼント

東京片貝会(阿部修次会長)は、恒例の総会を去る6月29日午後1時から東京上野の新潟県人会館で開催した。

首都圏を中心に遠くは静岡県から駆けつけた人もあり、八十歳から五十歳代までの幅広い同郷人65名(内女性23名)が集まり、これに片貝町から吉井陽片貝町協議会長、関広一市議会議長

長 吉原正幸市議、館岡信男中学校長、岩田忠満小学校長等16名が加わり賑やかな会合となった。

片貝町から駆けつけた人達が、それぞれの立場で近況を報告、東京片貝会のメンバーは熱心に情報に聞き入っていた。東京片貝会は後輩の健全育成を願って、毎年小中両校に図書購入費をプレゼントしているが、今年も当日出席の両校長に十万円相当の図書券を手渡しした。また、今年には中学校が創立50周年にあたり、記念事業のひとつとして国旗掲揚塔建設を計画しているが、こちらにも尽力したいと東京片貝会とし



東京片貝会総会

「御中元を初めとする贈答に御利用」とPRしている。片貝町商工振興会とのかたがいの組のメンバー5人も駆けつけて「ふるさと物産展」を開催、ようかん、米菓、藍染め、コシヒカリなどをズラリと揃え三時間余りで約二十万円の売り上げがあり、東京片貝会のメンバーからも喜ばれホクホク顔だ

つた。庄巻はいつものように後全員で唄う木遣り。会場いっばいに懐かしい歌声が広がっていった。

東京片貝会は二年後に四十年を迎えるので、新会員を募っている。現在会員は約60名であるが、若い世代の会員が少ないため、PR活動を行ないたいとしている。

広井庄一市長誕生 給食問題などに意欲的

任期満了に伴う市長選挙は、6月22日告示、6月29日投票日の日程で行なわれ、広井庄一が誕生した。

選挙は市議員を四期途中で辞めて立候補した広井庄一(65、元中子、農藝)と、県議員を二期途中で辞めて立候補した山崎氏の一騎打ちとなった。

当初山崎氏が独走状態で無投票当選かと思われたが、

任期満了に伴う市長選挙は、6月22日告示、6月29日投票日の日程で行なわれ、広井庄一が誕生した。選挙は市議員を四期途中で辞めて立候補した広井庄一(65、元中子、農藝)と、県議員を二期途中で辞めて立候補した山崎氏の一騎打ちとなった。

当初山崎氏が独走状態で無投票当選かと思われたが、

広井氏は市議会では副議長、社会土木委員会、入札案件調査特別委員長(百条委員会委員長)などを歴任。辞める時は総務文教委員長に就任した。

選挙期間中、中学校の給食を計画されている共同調理方式から自校方式に転換、国立西小谷病院の存続、産業廃棄物中間処理施設の市民運動の先頭に立つこと、寝たきり老人の介護手当アップなどを公約としてあげてきた。

7月9日に初登庁、管理職の前に「公約実現のために協力してほしい」と語り、記者会見でも中学校の給食を、小出市政が共同調理方式を計画していたものを、180度転換して自校方式にする決意を語った。

片貝城址現わる!?

7月21日片貝城址が出現した! (写真)

実はこれ、かたかい組(松井均会長)のユニーク企画で、7月21日午後7時から片貝中学校北側スポン広場で開催された「越後

煙がたかれ、狼煙が次々とリレーされ、会場にたどりつくまで約10分。幅八メートル、縦八メートルの大きな布に描かれた「片貝城」が、大勢の町民が見守る中堂々と出現、大きな拍手が沸き起こった。

この夢の片貝城は三之町の佐藤完二郎さんが、約二週間をかけて描きあげた力作。

片貝町協議会、水旺会、かたかい組の三団体は力を合わせて町民に広く呼びかけて片貝城址に着手しており、このことから「片貝城再建」のイベントを開催し、地域の活性化につなげようということになった。

かたかい組の企画に片貝商工振興会が

タイアップ、7月14日から19日まで35店舗が参加して「ちぢみの里」招待セールを実施、期間中の買い物客に抽せん券を発行、その抽せん会場をこのイベント会場に設けた。期間中の売り上げもかなりあり、抽せん会場は長い行列が出来、ちぢみの里食事付入浴券が当たると鐘が会場に響いた。会場では生ビール、各種つまみも販売され、片貝城址をながめながら午後九時過ぎまで賑わった。

アケビ細工得意な黒崎氏

J A片貝の前参事、黒崎氏(61、一之町三区)の女人裸足の特技を知っている人はいない。写真にあるようにアケビのつるを用いて自在にカゴを編み、どこへ出しても売れ物として通じるものばかりだ。今回は得意な趣味であり特技を持つ黒崎氏をウォッチングした。

まずはプロフィールから。片貝中学校卒業後、A片貝町に入り、昭和59年参事となり平成4年5月退任。その後、健康論を展開する。そして山歩きを目的にも退職後二年間片貝町公民館長、妻、敏子さんとの間に三人の娘がいるが、長女は結婚、二女は社会人として独立、三女は大学生であるため、現在奥さん二人暮らしで悠々自適な生活を送っている。

アケビ細工の材料となるアケビのつるを採り、秋はキノコ採りに行く。アケビ細工の材料となるアケビのつるを採り、秋はキノコ採りに行く。アケビ細工の材料となるアケビのつるを採り、秋はキノコ採りに行く。

たまたま夫婦で長野を訪れた際、奥さんがアケビのつるを採り、アケビ細工の材料となるアケビのつるを採り、秋はキノコ採りに行く。

アケビ細工の材料となるアケビのつるを採り、秋はキノコ採りに行く。アケビ細工の材料となるアケビのつるを採り、秋はキノコ採りに行く。

アケビ細工の材料となるアケビのつるを採り、秋はキノコ採りに行く。アケビ細工の材料となるアケビのつるを採り、秋はキノコ採りに行く。

7月21日片貝城址が出現した! (写真)

実はこれ、かたかい組(松井均会長)のユニーク企画で、7月21日午後7時から片貝中学校北側スポン広場で開催された「越後

煙がたかれ、狼煙が次々とリレーされ、会場にたどりつくまで約10分。幅八メートル、縦八メートルの大きな布に描かれた「片貝城」が、大勢の町民が見守る中堂々と出現、大きな拍手が沸き起こった。

この夢の片貝城は三之町の佐藤完二郎さんが、約二週間をかけて描きあげた力作。

片貝町協議会、水旺会、かたかい組の三団体は力を合わせて町民に広く呼びかけて片貝城址に着手しており、このことから「片貝城再建」のイベントを開催し、地域の活性化につなげようということになった。

かたかい組の企画に片貝商工振興会が

タイアップ、7月14日から19日まで35店舗が参加して「ちぢみの里」招待セールを実施、期間中の買い物客に抽せん券を発行、その抽せん会場をこのイベント会場に設けた。期間中の売り上げもかなりあり、抽せん会場は長い行列が出来、ちぢみの里食事付入浴券が当たると鐘が会場に響いた。会場では生ビール、各種つまみも販売され、片貝城址をながめながら午後九時過ぎまで賑わった。

て組グリーン会
ゴルフで福祉協力

て組グリーン会(阿部利勝代表)では7月13日(日)第3回ゴルフコンペを小千谷カントリークラブで開催した。当日は早朝の雨にもかかわらず、参加者が26名(女性4名)の参加者が有り、勝敗よりも楽しいゴルフと親睦を深める大会となった。チャリティホール収益金一万一

千円を片貝地区配食サービスに寄贈した。この会は三年前に発足、毎年一回夏季大会を開催している。今年も13番ホールとして、第一打でグリーンにのらないと罰金(500円)を取り、その収益を福祉に寄付するシステム。現在四之町のゴルフ愛好者は50名前後。

第3回コンペ入賞者は次の通り
①佐藤満、②安達直人、③吉原節子

民謡教えます
片貝公民館

片貝公民館では平成9年度夏の民謡教室を、8月6日(水)、8月20日(水)の午後7時30分～9時まで片貝スポーツセンターで開催する。参加料は無料、うちわ

片貝小3年生
デイホームかたかいを訪問

片貝小学校の三年生五十六名は、7月8日と15日、四班に分かれデイホームかたかいを訪問、歌やタテ笛

J A片貝町ドッジボール大会
8月10日片貝中

J A片貝町では8月10日(日)午後一時から、片貝中学校体育館で新潟県ドッジボール協会の公式ルールに基づいた第2回J Aドッジボール大会を開催する。参加資格はJ A片貝町の区域内居住する人、又は区域内の事業所に勤務する人、一チームは十二名でプレーする。

盆踊り
出場者募集

間もなくお盆がやってくるが、今年も8月15、16の両日午後7時30分太鼓を合図に、浅原神社で盆踊り大会が繰り広げられる。15日午後8時30分～9時まで「チーム対抗盆踊りコ

ハローベイビー

○吉原丈ちゃん(一之町一区)
パパ新さん(28才)
ママ利香さん(28才)
第二子二男
平成8年8月12日生
現在の体重8.4kg身長73cm

Q お子さんの様子
A 二歩トコトコと歩けるようになりましたが、男に!!

今はいよいよ二歳までもいってしまっています。お兄ちゃん(年少)が大好きで後ばかりついていきます。

Q どんな子に育ってほしいですか。
A 心もからだも「Bigな男」に!!



片貝城址再建の様子

かたかい組の企画に片貝商工振興会が



片貝城址に集まる人々

10月4日上映決まる
「とべないぼたろ」

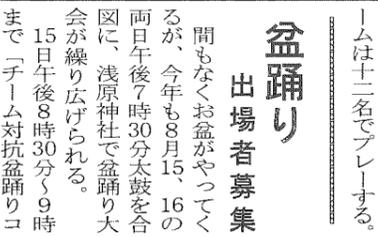
片貝小学校文化教室部は、いじめと自然をテーマにしたアニメーション映画「とべないぼたろ」を10月4日午前9時から10時半まで小学校南運動場で上映することを決定、諸準備を進めている。



映画「とべないぼたろ」の衣装

盆踊り
出場者募集

間もなくお盆がやってくるが、今年も8月15、16の両日午後7時30分太鼓を合図に、浅原神社で盆踊り大会が繰り広げられる。15日午後8時30分～9時まで「チーム対抗盆踊りコ



盆踊り大会の様子



映画「とべないぼたろ」の衣装